

第69回 国体中国ブロック大会結果

第69回国民体育大会中国ブロック大会に、トップス広島加盟の6チームが参加し、6チーム全チームが1位追加で**国体出場権を獲得**した。この良いペースのまま全国の間でも素晴らしい活躍を期待したい。

★JT サンダース

決勝 島根県に3勝1敗で勝利

★ワクナガレオリック

準決勝 島根県に54-8で勝利
決勝 岡山県に47-22で勝利

★広島メイプルレッズ

山口県代表に36-24で快勝

★広島ガスバドミントン

4戦全勝、2年連続1位通過

★NTT 西日本広島ソフトテニス

[男子]4勝全勝1位通過
[女子]3勝1敗1位通過(山口県との対戦)

★CCW レッドスパークス

準決勝 岡山県に12-0で勝利
決勝 島根県に3-0で勝利

各チームの1押し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆



JT サンダース
中島健太選手

生年月日 1991年8月25日
身長 195cm
出身地 愛媛県
出身校 東温高校→近畿大学

担当者からのコメント

力強くダイナミックな速攻が持ち味の攻撃的ミドルブロッカー。パワフルなスパイクで、相手のコートに風穴を穿つ。



山口県代表に快勝

8月23日(土)~8月24日(日)に2014国体中国ブロック予選が島根県立体育館で開催され、広島メイプルレッズは成年女子広島代表として出場した。順位決定戦で山口県代表に36-24(23-11、13-13)と快勝し、国体本選に向けて勢いをつける結果となった。この予選により、中国地方の国体本選出場は広島県代表と山口県代表に決まった。これからの国体本選も、この強さを全国に見せつける活躍を期待したい。



「負けたくない」戦い

8月23日、J1リーグ第21節サンフレッチェ広島 VS セレッソ大阪の試合がエディオンスタジアムで行われた。先日の土砂災害を受け、試合会場では募金活動が行われ、1日だけで3,884,292円もの募金が集まった。広島の選手たちは「かんぱろう広島」のTシャツと喪章を身につけピッチに登場し、試合前にはサポーターを含めスタジアム全員が黙祷をささげた。黙祷後C大阪のサポーターから広島コールが起こり、あらためてスポーツのもつ素晴らしさに胸が熱くなった。どこか期待感にあふれたこの試合だったが、3試合ぶりに佐藤寿人がベンチ入り、ルーキーの皆川が先発出場。どうしても勝ち点3が欲しい両チームは、互いに堅い守備が続き0-0で前半を終えた。

後半に入り、最初の決定機を得たのはC大阪。カカウのポストプレーからフォルランがシュートを狙うも、キーパー林がゴールを守った。次にチャンスを得たのは広島。ミキッチのクロスから皆川がシュートを打つが、惜しくもキーパーの正面でゴールとはならなかった。その後再びC大阪の、フォルラン・カカウのコンビがゴールを狙う。得点にはならなかったが、2人だけで広島ゴールを脅かし、少しずつゲームが動き始める。ここから勝利への執念を見せるC大阪の猛攻撃に追われるものの、これ以上負けられない広島が、身体を張って必死に守る状態が続く。被災された方々のために勝利を届けたい広島は、後半アディショナルタイムに広島自陣ゴール前からのカウンターをみせる。柏が相手ディフェンダーを交わしゴールを狙うが、惜しくもゴールならず、試合はスコアレスで終了となり、勝ち点1を得た。3試合で失点1。広島の堅守は戻りつつある。この試合同様の粘り強い守備に、次こそゴールを決め徳島戦では勝ち点3を期待したい。



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。



加盟
団体



サンフレッチェ広島



JTサンダース



ワクナガレオリック



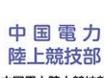
広島メイプルレッズ



広島ガスバドミントン部



NTT西日本広島ソフトテニスクラブ



中国電力陸上競技部



コカ・コーラウエストレッドスパークス



広島東洋カープ

トップス広島 事務局
〒733-0036
広島市西区観音新町4-10-2

TEL:082-233-3233
FAX:082-233-3251
URL:www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。



中国ブロック大会優勝！いざ国体へ！



9月20日から10月2日までの間、韓国・仁川(インチョン)において、「第17回仁川アジア競技大会」が開催され、女子ホッケー代表(さくらジャパン)が出場する。CCW レッドスパークスからは、監督をはじめ、選手・スタッフ合計11名が代表メンバーに選出された。優勝を狙う日本代表チームに期待したい。

また8月22日から24日、第69回国体中国ブロック大会が奥出雲町三成公園にて行われ、CCW レッドスパークスは広島県成年女子として出場した。23日、岡山県との戦い。試合開始わずか2分、ペナルティコーナーを取得し、小野選手のシュートで先制。続いて4分にも小野選手がゴールを決め、試合の流れを作っていく。勢いの止まらないCCW レッドスパークスは次々に得点を決め、前半戦を8-0で折り返す。後半開始5分、金藤選手がタッチシュートを決め、その後も相手チームに得点を許さず試合終了。12-0と大差をつけて勝利した。翌日24日には、島根県との決勝戦。この試合で国体出場が決まるため、両チームとも必死の攻防が続いた。前半戦、相手チームの堅い守りに阻まれながらも23分、新井選手が得点決め、1-0で前半終了。そして緊張の後半戦、細かいパスで相手守備を崩す場面が増えてきたCCW レッドスパークスは勢いに乗り、11分に金藤選手が追加点を上げる。そしてその直後には、西村選手がダイレクトシュートを決め差を広げた。その後も果敢に攻め続けるが、得点にはならず試合終了。3-0で勝利した。これで、CCW レッドスパークスは中国ブロックを勝ち抜き、10月に長崎県で開催される、第69回国民体育大会への出場が決まった。国体での優勝を期待するとともに、広島から声援を送りたい。



いざ国体へ！！授賞式の様子



4戦全勝！国体出場決める！

8月16日、17日の2日間、島根県松江市鹿島総合体育館で、第69回国民体育大会中国ブロック大会が行われた。これは、10月13日から16日まで長崎県を舞台として開催される、「長崎がんばらんば国体」への出場権をかけたものである。

バドミントンは、成年女子の広島県代表として、広島ガスが出場した。成年女子は、シングルス・ダブルス共に調子が良く、昨年と同様見事4戦全勝し、2年連続1位通過で国体出場を決めた。

この勢いで、8月29日から9月3日に福島県郡山市で行われる全日本社会人大会に向けて、頑張ってもらいたい。



左から平井選手、井上(静)選手、桜井選手、菊田監督

大瀬良、2か月ぶり7勝目！！ロサリオ、V打！！

8月16日（土）、鯉打線が爆発し、13安打12点と広島が12-2で巨人に大勝をおさめた。先発の大瀬良大地投手は、6回2失点の好投で6月21日以来、約2ヶ月ぶりの白星となった。大瀬良投手は、6回に巨人・村田修一選手を空振り三振にうちとったときには「よっしゃー！」と絶叫し、ガッツポーズをみせた。また、中崎翔太投手が好リリーフで勝利に貢献し、1点リードの場面、7回から2イニングを投げ、巨人を6人で抑えた。打線は同点の5回1死三塁で、ロサリオ選手・キラ選手の2者連続タイムリーで2点を勝ち越した。7回に丸佳浩選手が貴重な16号2ラン、8回には會澤翼選手の7号2ランと一挙に7点を加え勝利となった。

17日（日）の巨人戦でも、2点を追う8回に2者連続タイムリーヒットで同点とし、さらに堂林翔太選手も続いて、5-4と勝ち越しに成功した。この日は、堂林選手の23回目の誕生日でもあった、チームの勝利だけでなく自分自身への大きなプレゼントとなったのではないだろうか。15日（金）からマツダスタジアムで行われた巨人との3連戦で、広島は2連勝となった。リーグ戦も後半に突入し、現在セ・リーグ3位と上位争いに食い込んでいるカープ。この勢いそのままCSへ出場し、セ・リーグ優勝を勝ち取ってもらいたい。



ヒーローインタビュー！
新4番ロサリオ選手とVサインの大瀬良選手

国体出場権獲得！！

8月16・17日、国民体育大会中国ブロック大会が島根県の松江総合運動公園庭球場で開催された。この大会は5県のリーグ戦で、上位2県が長崎県で行われる第69回国民体育大会に出場することができる。

成年男子の結果は、1戦目広島（3-0）島根、2戦目広島（2-1）山口、3戦目広島（3-0）鳥取、4戦目広島（3-0）岡山であり、4戦全勝で1位通過を果たした。成年女子の結果は1戦目広島（3-0）山口、2戦目岡山（0-3）広島、3戦目広島（3-0）島根、4戦目広島（2-1）鳥取で、3勝1敗となったが、山口県との対戦により1位を勝ち取った。国体への出場権を得たのは1位 広島県・2位 山口県であり、広島県は男女共に1位通過で国体出場を決めた結果となった。

この勢いで本大会も頑張ってもらいたい。

7/26～8/25 トップス広島 試合結果

広島東洋カープ

7/26	カープ○	7-5	●阪神
7/27	カープ○	6-1	●阪神
7/29	カープ●	1-3	○中日
7/30	カープ○	9-2	●中日
7/31	カープ●	4-6	○中日
8/12	カープ●	5-6	○ヤクルト
8/13	カープ○	7-3	●ヤクルト
8/14	雨天中止		
8/15	カープ●	2-7	○巨人
8/16	カープ○	12-2	●巨人
8/17	カープ○	5-4	●巨人
8/22	カープ○	6-0	●阪神
8/23	カープ○	2-1	●阪神
8/24	カープ●	2-8	○阪神

中国電力陸上競技部 第15回ひろしまクロスカントリー大会 8kmの部

- 1位 チャールズディランゴ（JFE スチール）
24分24秒
- 2位 兼実 省伍（中国電力）
24分55秒
- 3位 北 魁道（中国電力）
25分01秒

更なる進化遂げる！ 第15回ひろしまクロスカントリー大会！



競い合う北選手⑤と兼実選手⑥

8月23日に道後山高原クロカンパークで第15回ひろしまクロスカントリー大会が行われた。

開会式では「平成26年8月豪雨」での犠牲者の冥福を祈り黙とうをささげ、大会は幕を開けた。前半では清谷匠選手が1位のディランゴ選手の少し後方に位置し3位集団



快走！！清谷選手

を離して積極的にレースを進めた。そして中間点では清谷選手に兼実省伍選手、北魁道選手が追いつき熾烈な2位争いが繰り広げられた。結果は2位には兼実省伍選手に軍配が上がり、練習での好調さを結果に示すことができた。3位には新人の北魁道選手が入り、若手の上位進出がチームに良い刺激を与えた。今日の結果をうまく練習につなげて、秋の選手権大会や冬の駅伝、マラソン大会でいい結果を期待していきたい。



中国ブロック大会 優勝！

平成26年8月23日(土)～24日(日)に、島根県にある鹿島総合体育館にて第69回国民体育大会バレーボール競技中国ブロック大会が行われた。

1日目、初戦の相手は岡山県。1セット目に25-8と大差で勝利し、勢いをつけ2セット目に25-15。3セット目に24-16とストレート勝ちをした。

2日目の相手は山口県。1セット目に25-22と接線の末勝利。そこから、2セット目に25-17。3セット目に25-18と、ストレート勝ちをした。

そしていよいよ決勝。対戦相手は島根県。1セット目は、25-14と大差で勝利する。しかし、2セット目、追い上げてきた島根県に18-25で負けてしまい1セット取られてしまう。そこからは、国内トップリーグチームとしての意地を見せ、3セット目に25-17。4セット目に25-17と巻き返し、JTサンダースの圧倒的な強さを見せつけ優勝した。



湧永レオリック安芸高田 優勝!!

8月7日(木)～8月9日(土)に、佐賀県神埼中央公園体育館トヨタ紡織九州クレインアリーナにて第4回JHLジュニアリーグが行われた。この大会は、JHLチームの傘下にある全国の小学生チームが参加しており、東地区と西地区に分かれて平成27年3月22日に行われる第39回日本リーグプレーオフの地区代表を決定するための大会である。湧永レオリックの傘下である湧永レオリック安芸高田は、西地区の大会に出場した。

西地区では1回戦総当りのリーグ戦方式で試合が行われ、湧永レオリック安芸高田は、7日(木)の初戦で広島メイプルレッズジュニアスポーツクラブと対戦し、16-8で勝利。続く第2回戦は、トヨタ紡織九州レッドトルネードジュニアに35-9と大差をつけて勝利した。8日(金)に行われた第3・4試合では、BLUE SAKUYA ジュニア・オムロンピンディーズジュニアに対して、前日の勢いに乗ったまま連続勝利した。9日(土)に行われた最終試合に、湧永レオリック安芸高田は琉球コラソジュニアと戦い19-15で快勝し、西地区男子大会で5勝0敗と堂々1位を獲得し西地区代表となった。勢いを見せてくれた湧永レオリック安芸高田。第39回日本リーグプレーオフでの活躍を大きく期待したい。



JHLジュニアリーグ西地区代表に決定!